

工場

プラント

物流センター

建設現場

位置情報で現場を み “見える化”



iField の機能活用で"現場"の価値を最大化する

作業工程の ボトルネックを発見!



ヒートマップ、軌跡表示、動線再生などで位置情報をわかりやすくビジュアル化。
直感的な表示で課題を洗い出します。

稼働実績を 自動的に収集!

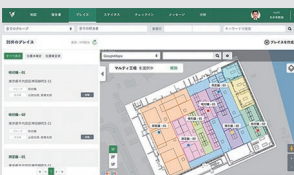


位置情報をさまざまなデータと紐付け、グラフ化・数値化。
ダッシュボードから現場の状況をひと目で把握しましょう。

人探し・モノ探しの 時間をゼロに!

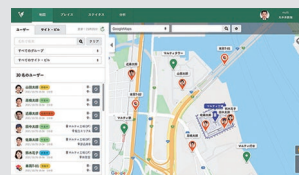


測位対象の現在地をリアルタイムに把握。
生産性向上の障壁となる探す時間・迷う時間を無くします。



設備の情報追加や エリア分けも可能

地図や屋内マップ上に、設備やエリアの情報を追加できます。



屋外情報とも シームレス連携

屋内と屋外を一つのマップで管理。周辺との位置関係が把握しやすくなっています。

カンタン環境構築

位置情報を取得するためのセンサー連携は、クラウド経由で手軽に設定可能です。構築代行のサポートオプションもご用意。必要なハードウェアの手配も承ります。

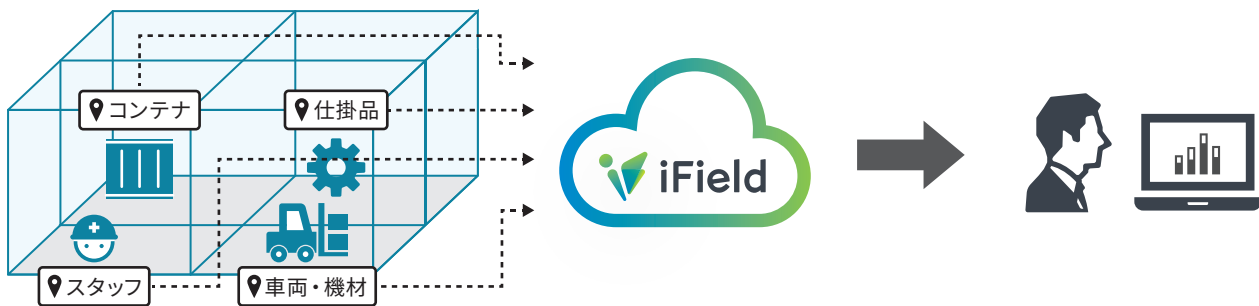
屋内外シームレス

屋内位置情報だけでなくGPSなどを利用した屋外測位も利用可能。広大な敷地内でのデータ取得や複数拠点での利用も対応できるほか、拠点間移動や物流網の分析もまとめて行えます。

柔軟な対応と拡張性

現場によって環境や必要な情報はさまざま。センサーの方式や利用デバイスは、状況に合わせて柔軟なご提案が可能です。また、カスタマイズ開発や既存システムとの連携もご相談ください。

- システムの流れ -



位置情報を取得

クラウドにデータを集約

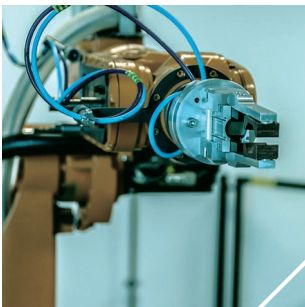
インターネットブラウザで各種機能を利用



導入事例1 自動車部品製造工場

フォークリフトの稼働を「見える化」し、コスト削減

フォークリフトや牽引車が多く稼働している工場内で、車両の移動範囲や稼働をモニタリング。定性的な調査では絞りきれなかった、稼働率の低い車両を可視化した。稼働状況を客観的に確認することで無駄な移動などを洗い出し、不要な車両を80台中10台削減。大幅なコスト減と安全性向上に成功した。



導入事例2 ロボット製造工場

仕掛品の状況を把握し、ボトルネックを発見

仕掛品の位置を把握することで、進捗状況の確認を実現した。製造工程ごとに滞留時間をヒートマップ化し、流れが止まりがちな工程を発見。フローの組み換えやレイアウト変更を行ったことで、リードタイムが26%、仕掛在庫数が60%それぞれ改善された。どの仕掛品が現在どこにあるかもわかり、大幅な効率化を達成している。